

楽しく美しい まちづくり通信…⑥8

安比の観音様

— 子授け・安産・育児 —

この庵寺は十数年前に地区の皆さんが建て直したもので、庵中には、江戸時代前期の作とみられる如意輪観音の座像が祭られています。裏手には、慶応年間までは居たという和尚さんのお墓もあります。

二月中旬、突然大雪が降り、二戸のまちなすっぽりと深い雪に埋もれてしまいました。そんな中、子供たちが雪の中をはしやいでいました。

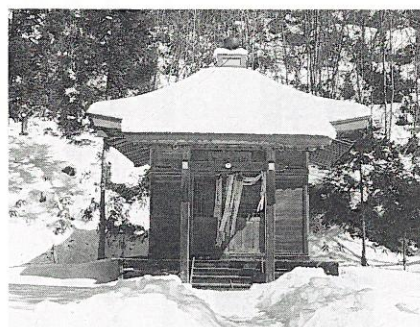
「子供は授かりもの」と言いますが、御返地の安比の庵寺に「子授け・安産・育児の願いを聞いてくれる」といわれる観音が祭られています。

「実は近所の方だけでなく、遠くは青森県の七戸町から訪ねてきたこともあった。」中には、拝んだ途端に子供が授かったとお礼参りにいらした方もいてねえ。その時は自分のことのようにうれしかった。」と田口キノさんはいいます。

今でも、毎年一月二一日と八月十七日には手作りの料理を持



観音様



如意輪観音堂「円通庵」

ち寄って女性だけが集まり、観音様と一緒に世間話をして楽しんでるそうです。

取材している途中で、「今日は旧正月だから、どうしても拝みたくて」と、川上ミツさんと千葉キワさんがお参りに来まされた。

そうすると昔話に花が咲き始め、「昔は競うように歌や踊りを披露し合い、それはにぎやかでした。」「私も〇〇さんには負けなかった。」その場にいるだけで、楽しさが伝わってくるようでした。

雑談も二時間を過ぎようとしたころ、田口さんが突然寂しそうな表情を見せました。それは、

今の若い世代は生まれたときから何不自由なく育っている。何かを信仰して心のよりどころとするものがない。そういう世の中で、このような信仰が孫の世代まで受け継がれていくのは難しい、と言うのです。

取材が終わろうとしたとき、三人で顔を見合わせながら、「今年も一年間、病気もせずにごんばりましょう。」と見せてくれた笑顔がとても印象的でした。もう一度、観音様に目を向けると、片ひざをついたまま座っているその姿が、まるで子供を抱いているように見えたのは気のせいでしょうか。

(取材協力)

田口キノさん(安比字道ノ上)
川上ミツさん(安比字上大築平)
千葉キワさん(安比字砂子前)



昔話に花が咲きました

こまみ



3月11日～4月10日

★3月★

- 11日(木) 市民生活相談(市役所市民相談室)
- 12日(金) 書館
- 13日(土) 親子映画会(市立図書館)
- 14日(日)
- 15日(月) 確定申告・贈与税申告期限
- 16日(火)
- 17日(水)
- 18日(木) 法律相談(市役所市民相談室)
- 19日(金)
- 20日(土)
- 21日(日) 春分の日(二四節気、動物愛護デー)
- 22日(月) 放送記念日
- 23日(火) 世界気象デー
- 24日(水)
- 25日(木) 巡回税務相談(市役所市民相談室)、電気記念日
- 26日(金) プレママ教室(市保健センター)